

# 全体の相談件数は減少しています～

しかし、高齢者の相談は昨年度に引き続き増加しています。

60歳以上の年代からの相談は2,690件で全体の相談件数が減少する中で増加しています。

また、年代別相談件数に占める割合も増加しています。

相談内容は、「預貯金・証券等」や「放送コンテンツ等」が上位になっています。

最近では、巧妙な心理操作により消費者の弱点（善意・欲望・不安等）を徹底的に攻撃し、消費者から情け容赦なく資金を収奪する「詐欺的投資勧誘」や悪質なインターネットの「サクラサイト」による被害の相談が多数寄せられていますので警戒が必要です。

## 60歳以上の年代からの相談件数

順位	相談内容	件数
1	預貯金・証券等	209
2	放送・コンテンツ等	201
3	役務その他	132
4	ファンド型投資商品	127
5	健康食品	101
6	工事・建築・加工	100
7	商品一般	95
8	他の教養・娯楽	81
9	修理・補修	69
10	医療用具	67
	その他	1,508
	合計	2,690

## 2 年代別相談件数

年代	平成23年度		平成22年度	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
20歳未満	371 (241)	4.4 (65.0)	410 (256)	4.5 (62.4)
20歳代	871 (240)	10.2 (27.6)	1,062 (338)	11.5 (31.8)
30歳代	1,228 (328)	14.5 (26.7)	1,446 (379)	15.7 (26.2)
40歳代	1,202 (293)	14.2 (24.4)	1,234 (284)	13.4 (23.0)
50歳代	1,007 (212)	11.9 (21.1)	1,104 (177)	12.0 (16.0)
60歳代	1,146 (133)	13.5 (11.6)	1,161 (116)	12.6 (10.0)
70歳以上	1,544 (37)	18.2 (2.4)	1,508 (61)	16.4 (4.0)
不明	1,116 (63)	13.1 (5.6)	1,275 (59)	13.9 (4.6)
合計	8,485 (1,547)	100.0 (18.2)	9,200 (1,670)	100.0 (18.2)

備考：（ ）は内数で、不当（架空）請求の件数と当該年代の相談件数に占めるその割合